

育成を目指す資質・能力

文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

ICT活用のポイント

- ①歌集（書籍）とともに、インターネット上の短歌サイト等をブラウジングして様々な短歌に触れ、気に入った歌を書き写して集める。
- ②文章の修正がしやすいことを生かして鑑賞文を推敲し、書き上げる。
- ③全員の作品を手元で一覧して次々に閲覧することで、様々かつ多量の短歌やその鑑賞文を浸るように読む。

教科書（「短歌に親しむ」など）
を読む

短歌鑑賞のポイントを学ぶ

鑑賞する短歌を探す・選ぶ

短歌を鑑賞して鑑賞文を書く

互いの鑑賞文を読み合う

学習の振り返りをする

事例の概要

← は教師による教材提示で利用。 は学習者の1人1台端末による利用。

①鑑賞する短歌を探す・選ぶ

- ・現代歌人のHPや、一般参加の短歌サイト等をブラウジングして探す。
- ・気に入った短歌をメモする。
- ・探した短歌から鑑賞に取り上げる候補数点を絞る。

②短歌を鑑賞して鑑賞文を書く

- ・鑑賞の観点を書いたカードを配布し、鑑賞する。
- ・鑑賞文を書く。書いては修正・推敲しつつ書き上げる。
- ・学習支援ソフトを使って提出する。

③互いの鑑賞文を読み合う

- ・次々と短歌とその鑑賞文を読み合い、気付きをメモする。
- ・気に入った鑑賞文（作品）にはコメントを送り合う。

中学校・2年・国語科・短歌を味わおう C読むこと ②

【事例におけるICT活用の場面①】

鑑賞のためのカード

何かしら夢中になっているときの
無音はこの世の無上の音楽 永峰半奈
うたらばの123 【音色】より

①こんな歌：何かに夢中になっているときのシーンとした空間はこの世の中で一番の音楽だということを書いておきたいです。
②表現の工夫：「夢中」「無音」「無上」で韻を踏んだような表現でテンポがいいと感じました。
③私の鑑賞：私がこの歌を選んだ理由は、とても共感したからです。自分の趣味のことであり、とても共感し、楽しめて、シーンとした空間が幸せだなと、考えたことがあるので、とても心に残りました。また、②のようにちよっとリズムっぽいところがあるのもおもしろい歌だなと思いました。

完成した鑑賞文の例

何かしら夢中になっているときの
無音はこの世の無上の音楽 永峰半奈
この歌は、うたらばの「音色」の中に収められていきます。夢中、無音、無上など、韻を踏んでいるような表現が多く、この歌自体が音楽のように感じられました。
因みに、「無上」とは、これにまさるものがないことで、類義語に「至上」などがあります。そのため私はこの歌を、何かに夢中になっているときの静寂は、この世の中で一番の音楽だと歌っているのだと考えました。
私も本を読んでいる時や何か作業をしているときは逆に何の音もしていないこのほうが幸せだったりするので、とても共感できました。
激しい感情やきれいな情景を歌った歌ではないけれど、当たり前前の幸せを歌ったこの歌が（こういうご時世だからかもしれないけど）私の心にはとても響きました。

↑項目に沿って鑑賞

【事例におけるICT活用の場面②】



場面①におけるICT活用について

左（鑑賞のためのカード）

- ①こんな歌：歌の解釈を書く。
- ②表現の工夫：表現上の気づきを書く。
- ③私の鑑賞：感想や考え、鑑賞のポイントと思われることを書く。

右（完成した鑑賞文の例）

- ・修正や推敲が楽なので、書いては消し、書き足し、順を入れ替える等が盛んに行われ、文章もシャープになっていきました。

場面②におけるICT活用について

学習支援ソフトでは、お互いの提出作品を一覧しながら読み合わせるため、全員の作品を一気に読むことが可能になります。これが様々な気づきにつながり、学び合いによる学習効果を生んでいるように感じます。

- ※ 写真を貼り付けて完成させた作品が見られますが、自分が取り上げた歌のイメージに近いフリー素材を見付け、背景にすることで、鑑賞文の効果を高めていました。
- ※ この事例は2020年6月の学校再開時、授業中に向かい合って会話するといった交流ができない状況での活用事例でもあります。1人1台環境による閲覧のかたちで学び合う学習が可能になりました。

【活用したソフトや機能】 ウェブブラウザ、学習支援ソフト